

# データドリブンな農業経営の実装 ～あらゆるデータを農業経営の力に変えていく～



採択事業者名 **テラスマイル株式会社**  
 コンソーシアム構成員 **テラスマイル株式会社 | 農事組合生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン**

## 勉強会の実施概要

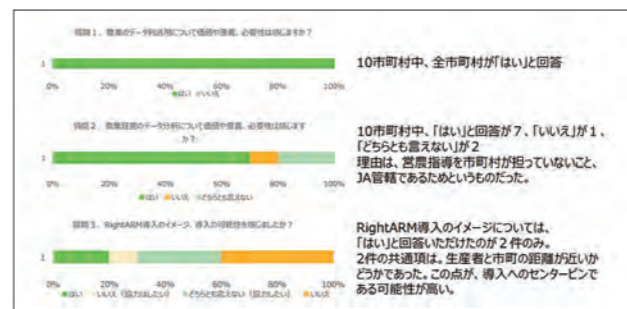
勉強会の目的	本勉強会で目指すのは、スマート農業や農業におけるデータ利活用の導入の障壁を払拭するべく、スマート農業や農業のデータ利活用の再認識を図り、どうすれば導入ができるか、どうすれば農業を活かし、農家の便益に繋げられるのか。自治体様、生産者様と協議することを目的とした。
勉強会の当初のゴール想定と結果	勉強会実施後に、簡単なインタビューを実施した。「農業経営のデジタル化への意欲」、「新規就農者向けのサービスとしての評価」、「営農指導へ期待される効果」の3項目と総合評価である。農業のデータ利活用について、価値や意義、必要性を感じるかという問いに対し、100%が「はい」と回答いただくことができた。しかし、導入へのイメージや可能性については、ほぼすべての自治体様が「いいえ」、「どちらでも言えない」の回答だった。ただ、その中でも自治体様によっては、協力については快諾いただくことができた。
参加者	愛媛県10市町村、生産者4戸
協議アジェンダ	スマート農業概論、農業におけるデータ利活用について、ケーススタディ、データ分析実演、意見交換会
協議による実装推進上の重要な決定事項/示唆	費用対効果、デジタルリテラシーといったスマート農業導入の障壁を乗り越えるには、栽培視点と経営視点でのサービスのブラッシュアップと勉強会の場から自治体・生産者の声を引き出しながら複数のモデル事例(成果)に結び付け、面的展開を目指していくことが重要であること。
その他補足事項など(開催頻度、規模など)	1団体あたり、2時間～3時間。打ち合わせの回数は各組織あたり平均で3回程度実施した。

## デジタル実装協議フォーマット

目指す「実装成果」の定義	愛媛県内でデータドリブンな農業経営の普及を目指す。すでにコンタクトが取れている10市町村中、5市町村(5地域)での導入見込み候補地:大洲市、伊予市、今治市、西条市、四国中央市 これら自治体を起点とし、中期的に面的展開を目指していく。
データに基づく協議ポイントの整理	生産者にニーズが確認されているアウトプットは、「経営指標の概要」、「労働生産性」、「圃場ごとの収益性」である。その他にも、勉強会で意見あった「品目ごとの営農データベース」や「経営シミュレーション」などKGIとなる農業経営改善(収益性向上)と農業経営におけるKPI(売上とコストの要素分解)を主軸としながら、生産者、営農指導員、普及員の要望を聞き、開発にフィードバックする。双方向型の開発プロセスでサービスをブラッシュアップさせていく。
主なデータ項目	収穫実績、生育記録、センサーデータ、財務情報、作業時間記録、気象情報、市況情報
ガイドライン(含む具体例)	今回の実証協力先であったミヤモトオレンジガーデン様はすでに独自で生産管理システムを開発されている先駆的農業者であり、そのデータがあったからこそ、成果を得られた側面が大きく、「愛媛県内の他の生産者もできるのか」という点がどの自治体・生産者も共通の感想であった。しかし、一報で、目の前で気象データ等すでにRightARMで取得できるデータを分析し、データの見方をレクチャーするだけで、モチベーションがあがったり、農業に置けるデータ利活用の価値を感じていただける成果を見出すことができた。
「実装成果」実現に向けた示唆/考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>●次年度は2phaseに分けて実施</li> <li>①愛媛県農業を担う3社の農業法人(現時点確定)にて、RightARMを軸とした農業経営改善を実施</li> <li>②これらの経営改善業務をプロセス・マニュアル化、県内の自治体・JAに成功事例として展開</li> <li>●勉強会を普及の潤滑油として活用</li> </ul>



協議アジェンダ	概要
1 スマート農業概論	スマート農業とは何を指すのか、どんなサービスが提供されているか、これまでどのような課題をわらわっているか、各自治体の事例から、スマート農業の大きな可能性を語る。
2 農業におけるデータ利活用について RightARMの紹介	農業におけるデータ利活用がもたらす価値とは何か、弊社サービス「RightARM」の紹介や事例を交えて解説する。
3 ケーススタディ	テラスマイルの過去の事例の成功事例を基にケーススタディ・ワークショップを実施。自身が自身の立場の課題をどう解決するか、自身の現場に活用できるかを話しあう。など、問いを投げかけながらディスカッションを実施。一部自治体、生産者から要望。
4 データ分析実演	実証データを中心に、RightARMを使ったデータ分析の実演を行った。データからどんなことが読み取れるのかを生で体験いただき、そこに活かせることについてディスカッションを行った。各データが何を意味しているか、データを駆使して実装を行った。
5 意見交換会	全場を通じての意見交換を実施した。



勉強会実績